

令和3年度京都府当初予算 ～コロナ危機克服・新しい京都実現予算～ 1兆350億7900万円（前年度比114.8%）【過去最大規模】 国の補正予算を活用した2年度2月補正予算をあわせると1兆987億300万円

新型コロナウイルス感染症の影響は、医療、経済活動はもとより、日々の生活、働き方、教育、文化、介護・福祉、地域社会に至るまで、あらゆる分野に及んでおります。

京都府では、こうしたコロナ禍の状況にあっても、府民一人ひとりの活躍につながる社会を再構築し、コロナ禍を契機に更なる成長を遂げ、飛躍した社会を目指すとの理念の下、京都の総力を結集してこの困難を乗り越え、府内全ての地域が、活力にあふれ、誇りの持てる新しい時代の京都を築き上げていくための予算、「コロナ危機克服・新しい京都実現予算」が編成され、府議会において、議決いたしました。

令和3年度当初予算の体系（主な内容）

1. 命・健康・生活・事業を守るコロナ対策 2412億円規模（2月補正予算含む）

- ①医療提供体制等の確保と感染防止 ワクチン接種体制、医療提供体制の確保 など
- ②京都経済を支える対策 WITHコロナ・POSTコロナの中小企業支援 など
- ③生活・雇用の安心強化 ひとり親家庭、非正規雇用女性、学生の支援 など

【ワクチン接種体制】

☆府では市町村や医療機関等がワクチンの接種を円滑に実施できるよう必要な支援を行うとともに、コールセンターを設置し、副反応など専門相談に関する問い合わせに対応

【医療提供体制の確保】

☆万が一感染したとしても、安心して療養していただけるよう、すぐに使用できる病床の更なる確保と、効率的な病床の活用に努めるとともに、十分な宿泊療養施設を確保

2. 府民の暮らし安心強化

総合医師確保対策、生涯現役活躍人材育成支援、ひとり親家庭や離職者再就職の支援 など

3. 子育て環境日本一に向けた取組強化

子育てにやさしいまちづくり事業、妊産婦包括支援事業、
不妊治療給付事業 など



4. 文化首都・京都から伝える文化の力

文化芸術発信強化事業、北山エリア整備推進事業、地域文化活性化推進事業 など

【北山エリア整備推進事業】

☆憩いの緑と躍動するまちが融合した「文化創造の森」の創出をコンセプトとした「北山エリア整備基本計画」に基づく事業スキームを検討

5. 京都産業の強み再構築

商店街・小売業、ものづくり、伝統産業、観光、食産業の5分野の新事業を展開

6. 防災対策等の強化

水位・氾濫予測システム導入事業、危機管理センター整備、気候変動適応推進 など

7. 魅力ある地域づくり・基盤整備

舞鶴国際埠頭整備、新生・府立大学構想策定、府立医科大学機能整備計画検討 など

《SMILE》

スマイル

府議会議員北岡ちはる活動報告

2021.3.23 通巻No.-44

【北岡ちはる事務所】

京都市左京区北白川山田町10-1

Tel 075-702-9400

Fax 075-723-6600

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、皆様におかれましては、経済活動や生活が制限される中、大変なご苦勞をおかけしていることと拝察致します。この間、皆様への各種支援策のご紹介やご相談等の対応を行ってまいりましたが、お困りごとやご提案等がございましたら、ぜひともご連絡ください。

府議会議員
北岡 ちはる



【京都市新型コロナワクチン接種コールセンター】 ☎ 075-950-0808

※接種券の送付時期・接種時期・接種場所等の質問等 8:30～17:30（土日祝も開設）

【京都新型コロナウイルスワクチン相談センター】（府）☎ 075-414-5490

※ワクチンに関する疑問や副反応の医学的助言等 9:00～19:00（土日祝も開設）

【無料労働相談窓口】

◎京都府労働相談所（労働者・使用者からのさまざまな労働相談について）

☎ 0120-786-604（京都府内限定）

月～金 9:00～13:00/14:00～21:00 土 9:00～13:00/14:00～17:00
※日曜・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く

◎連合京都「なんでも労働相談ダイヤル」（働くうえで困ったこと等の相談について）

☎ 0120-154-052（平日 9:00～17:30）

【一時支援金給付について】 受付期間：3/8～5/31（原則オンライン申請）

対象：緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業、または外出自粛の影響を受け、売上が50%以上減少した中小法人・個人事業者等（時短営業協力金を受けられた方は対象外）

例）観光業、お土産品店などで売り上げが減少した店舗、個人タクシー、
宣言地域で出番がなくなった役者さんなどフリーランスの方も対象です。

▲給付額の上限 ⇒ 中小法人等は60万円 個人事業者等は30万円

給付条件、給付額の計算方法、申請方法等、詳細は...



【経済産業省 一時支援金窓口】 ⇒ ☎ 0120-211-240（8:30～19:00）

【飲食店等に対する営業時間短縮の要請に関する協力金申請について】

京都府緊急事態措置協力金・延長分（2/8～2/28の要請 府内全域）
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（3/1～3/14の要請 京都市域）
（3/1～3/7の要請 京都市以外の地域）

受付期間：令和3年3月15日～4月5日 WEB又は郵送申請（詳細は京都府HP掲載）

協力金コールセンター 075-365-7780（9:30～17:30 日祝日休み）

※3/15～3/21（京都市域）の新型コロナウイルス感染症拡大協力金の申請は、3/22以降になります。

※新型コロナウイルスの影響を受ける様々な支援やお問合せにつきましては、HP「京都府版新型コロナウイルスに関する支援制度まとめ」をご参照頂くか、北岡事務所までお問合せください。

1.KYOのあけぼのプラン(第4次)について

① 指導的地位に女性が占める割合の向上

国は、2003年に「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」との目標を設定したものの、第5次男女共同参画基本計画策定の議論を進める中で、事実上、この目標を断念したともいえるが、こうした国の状況に対する知事のお考えは。

府は、KYOのあけぼのプラン(第4次)の策定に当たり、どのように取り組むのか。

答弁：経済分野において女性の採用から管理職・役員への道筋の構築が不十分であることや、固定的な性別役割分担意識が存在すること等から、国の目標達成が困難であると認識。府も同じ課題を抱えており、第4次プランの策定では、キャリアの段階に対応した人材育成研修や、企業と地域における根強い性別役割分担意識の解消に向けた啓発に取り組む。



② コロナ禍における女性への影響の把握とその対応

コロナ禍にあって、雇用環境の悪化による生活不安、家庭責任の女性への集中、DVの増加・深刻化が顕著となるなど、女性の生きづらさが表面化しており、格差拡大の中で、自死を選ぶ女性も増加している。国は、「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」を開催しているが、府として研究会の議論や府におけるコロナ禍における女性への影響実態をどのように把握し、KYOのあけぼのプラン(第4次)にどのように反映するのか。

答弁：国の研究会の議論を逐次把握し、府の施策に反映。

また、府においては「男女共同参画に関する府民意識調査」の結果を基に必要な施策を検討し、第4次KYOのあけぼのプランに盛り込む。

③ 防災会議、消防団等への女性の参加・参画の向上

府の地域女性エンパワメントセミナーが「ジェンダー視点に配慮したコミュニティ防災」をテーマに開催され、その中で避難所運営組織に男女両方の視点を生かすためにも、全体数の最低30%は女性を入れることが提示されたが、どのように取り組むのか。また、女性の府防災会議における登用率の目標や、消防団や防災士への参画についてはどうか。これらに対する各市町村の取組状況と府の支援策についてはどうか。

答弁：府の防災対策検討の意見交換会でも、同趣旨の意見あり。第4次「KYOのあけぼのプラン」に防災分野への女性参画の推進を盛り込み、危機管理と男女共同参画担当部局の連携で取り組む。避難所運営組織への女性参加の重要性を啓発し、女性が30%以上となるよう市町村や府民に発信。府防災会議の女性比率30%だが、市町村防災会議は10%未滿で推移なので、市町村の指導に取り組む。

2.ICOM京都大会を契機とした今後のミュージアムのあり方と支援

昨年のICOM開催を契機に、従来の京都市内博物館施設連絡協議会に、京都市域以外の博物館、美術館等も参加された64館で構成される京都府ミュージアムフォーラムが結成された。令和元年12月の同フォーラムの支援に関する私の代表質問に対し、知事から「京都の文化の魅力を幅広く知ってもらう

ために魅力ある多彩な事業を展開する」旨の答弁をいただいたが、コロナ禍にあって、活動の制約を受けているミュージアムフォーラムに関する支援やその活用についての考えは。

また、学芸員などの関係者の交流や研修が必要ではないか。

答弁：各館における広報に加え、フォーラム全体での情報発信も必要であり、府においてホームページの作成を進めているところ。また、文化・スポーツ部と商工労働観光部等との連携により、各ミュージアムの展覧会やイベント情報を観光連盟等に提供し、観光と一体となった情報発信によりミュージアムを拠点とする文化観光につなげていきたい。

学芸員等の交流・研修については、オンラインの活用やブロック毎研修など、小規模ミュージアムの参加も可能となるよう工夫を行うなど、府として支援する。

3.信号機のない横断歩道における交通安全対策と教育について

① 信号機のない横断歩道上での交通事故防止対策

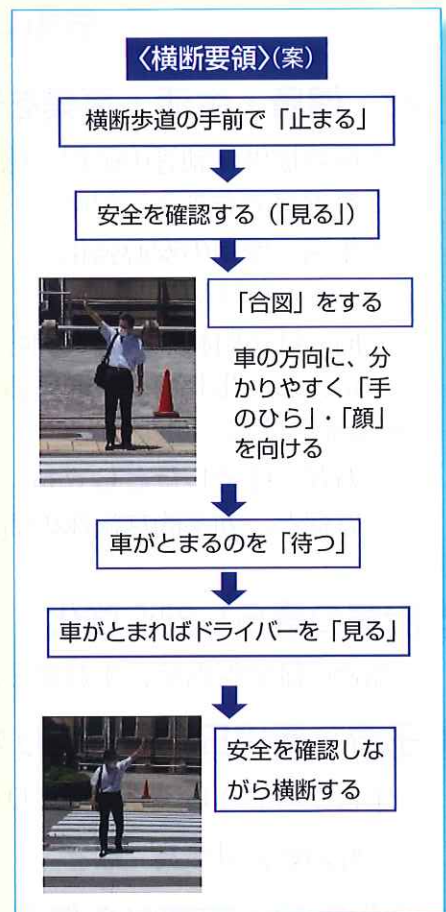
府内には、信号機のない横断歩道が、9,500箇所。JAFの調査による自動車の停止率については改善してきているが、一層の強化が必要。信号機のない横断歩道上での交通事故防止対策の取組みと方針はどうか。

② 手上げ横断の方針

【手上げ横断】については、単なる40年前の指導法の復活ではなく、より有効性のあるものとすべき。今後の方針や手上げ横断教育の本格実施の時期等はどうか。

答弁：自動車運転者が一時停止義務等の交通法規を遵守することが重要。交通指導取締りのほか、各講習等での安全指導や広報啓発を実施するとともに、横断歩道の明確化と物理的デバイスの設置等の道路交通環境整備を図る。

【手上げ横断】について、合図による歩行者と運転者との意思疎通の効果に着目した「京都モデル」の実施要領を策定。2021年4月以降、管内の指定モデル幼稚園等で本格実施後、秋頃に全ての幼稚園等に拡大予定。



4. 要望事項



(2020/8/9 鞍馬二ノ瀬山林崩落現場)

左京区鞍馬地域における風倒木被害地復旧工事及び山林崩落地復旧工事の速やかな実施とともに、叡山電車の早期運行回復に向け、更なる尽力を府に強く要望。

⇒ (叡山電鉄株式会社広報 2021/3/12 付)
⇒ 【2021年 秋までを目途に、市原駅～鞍馬駅間の運転を再開する見通し】
⇒

地域の皆様方、及び関係各位の
ご尽力に感謝申し上げます。